



【シリーズ】  
みんなでつくる総合計画  
— Vol.8 —

「10年後のまちの将来像を描く」  
私たちが考える  
まちのありたい姿  
よさのみらい会議からの提案

企画財政課 ☎43・9015

令和7年9月から12月にかけて開催した、よさのみらい会議。  
「人口が減少しても地域社会を維持できる仕組みとは？」「人口が減少しない（人口減少を抑制する）仕組みとは？」  
この2つを共通の視点として位置づけ、無作為抽出で選ばれた住民の皆さんや、地域の中高生の皆さんが10年後のまちの姿について対話を深めました。よさのみらい会議では、「しごとづくり」「くらしづくり」「ひとづくり」をテーマに、まちの現状や課題を「自分ごと」として捉え、年齢や立場の異なる皆さんが話し合い、町への提案書がまとめられました。  
このたび、よさのみらい会議と中高生よさのみらい会議から山添町長に提案書が提出されましたので、今月号ではその概要をお伝えします。



①よさのみらい会議の分科会で、議論を交わす参加者の皆さん  
②中高生みらい会議の様子



## まちの話題お届けします



### ● 多世代交流会 世代を繋ぐ笑顔の架け橋



多世代交流会の様子

1/14 高齢者総合福祉施設「虹ヶ丘」において、加悦聖三一幼稚園の園児5人と施設利用者約40人による交流会が開催されました。

この交流会は、「地域の世代間交流のきっかけづくり」をテーマに探究学習に取り組む、宮津天橋高校加悦谷学舎2年生2人が企画したものです。当日は、園児や教員、高校生と一緒に制作した「笑顔満開」と題した作品を披露。桜の木と元気いっぱい園児たちが描かれた心温まる作品に、会場からは大きな拍手が送られました。

その後、「幸せなら手をたたこう」など3曲の歌を披露し、世代を超えた交流を楽しみました。参加者全員に笑顔があふれる、心和むひとときとなりました。

#### 加悦聖三一幼稚園 山崎園長のコメント

交流の最後には、一人ひとり握手をして周り、笑顔をいっぱいいただきました。お姉さんたちの企画で、子どもたちも初めての経験をさせていただき、ステキな思い出になりました。ありがとうございました。

#### 宮津天橋高校加悦谷学舎生徒のコメント

総合的な探究の時間で少子高齢化が進む町の現状を知り、「世代を繋ぐ笑顔の架け橋」をテーマに交流会を企画し、歌や手遊びを通してたくさんの笑顔が生まれました。この経験を通して笑顔は世代を超えて人と人を繋ぐ力があり、世代の違いは壁ではなく繋がりを生むきっかけになることを実感しました。また、人の役に立つとは誰かと向き合い笑顔を共有することから始まると学びました。交流の中で得た温かい気持ちを忘れず、私たちにできる人の役に立つ取り組みを継続し、今後の学校生活や地域とのかかわりに生かしていきたいです。

### ● 宮津天橋高等学校「天橋芸術祭 2025」 生徒たちの1年の成果を発表



演奏する吹奏楽部の皆さん

2/7 宮津天橋高校の1年間の芸術・教育活動の成果を発表・展示する「天橋芸術祭 2025」が、宮津市民体育館で開催されました。

会場には、授業や部活動で制作した絵画や書道、写真などの作品が展示されたほか、演劇や吹奏楽、合唱などの発表も行われ、日ごろの取り組みの成果が披露されました。

### ● 須代神社「みょうが祭」 五穀豊穡と地域の安全を祈って



みょうが田のお清めを見守る役員と来訪者の皆さん

2/11 みょうがの発芽具合でその年の稲作の豊凶を占う「みょうが祭」が、須代神社（明石）で営まれました。

この祭りは、明治30年ごろ綾部市の阿須々伎神社からみょうがの根を譲り受け、同神社内の御神田に植えて占いを行うようになったのが始まりと伝えられています。御神田は「早稲・中稲・晩稲」に区切られており、今年は早稲の発芽が良好でした。参拝者らは雨の降る中、御神田に手を合わせ、実りの秋となるよう祈願していました。